

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表 (南方町)

(平成29年1月末現在)

分野	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回答
①議会運営、議員	議会の特別委員会で地域医療について関係者からアンケートをとった。それを公表するということがあったが、結果はどうなったのか。	議会	資料は、後日個人宅に直接お届けいたしました。
	議会改革ランキングが上がったのはなぜか。栗原市は何位か。	議会	早稲田大学マニフェスト研究所の評価基準で行ったもので、通年議会やタブレット端末の導入も評価されたものと受け止めています。なお、栗原市については、県内で8位となっています。
④シティプロモーション	市の千本桜への交付金がなくなったのはどうしてか。	企画部 企画政策課	シティプロモーション事業として、委員会で継続調査を行います。
	宮城の明治村では、関係者が明治時代の服装を取り入れてはどうか。	産業経済部 商業観光課	
	災害があっても何とかなる地域は少ない。登米市は安全なこと、米があり、水があり、空き家もあり、受け入れできることをアピールし、その交流を通して農産物を販売してはどうか。	産業経済部 農産園芸畜産課	
⑦公共施設、跡地利用	パークゴルフ場は、市の中心の平筒沼が良かった。岩手に近い石越になったのはなぜか。	教育委員会 生涯学習課	当初、整備場所を高森公園と選定した際は、5項目を評価項目として比較いたしました。利用者の利便性の視点も加え再評価を求める請願が米山の団体から提出されたことから、評価項目の再検討を行いました。 評価項目を20項目に増やすとともに、民間から二人の選定委員も入り再評価した結果、整備費や用地の取得容易性で差が出て、改めて高森公園に決まったものです。
⑩病院	米谷病院に療養型病床を設けることは、厚労省と方向が違う。診療報酬がなくなる可能性もあるのでは。	医療局 企画課	確かに厚労省とは方向性が違うかもしれません。しかし、現実を見ると登米市は療養型病床が非常に少ない状況で、県でも認めていることから進めていきたいと考えています。診療報酬がなくなるように注視していきます。
	医師の確保はできるのか。	医療局 総務課	担当部署へ確認したところ、「医師の確保に向けては、医師の供給もとである東北大学や東北医科薬科大学へ幾度となく足を運び、医師の常勤配置や派遣に関するお願いをしているところですが、応援医師の派遣数は増加しているものの、常勤医の確保までには至っていない状況です。 今後も両大学との良好な関係を築きながら、総合診療医等地域に必要な医師の確保に向けた取り組みを進めてまいります。」と回答がありました。
	病院の赤字解消のためのチームを作るべきではないか。	医療局 総務課	担当部署へ確認したところ、平成28年11月に策定した「登米市病院事業中長期計画」において、さらなる経営改革とともに本市の地域医療が将来的に確保され、市民が安心して暮らせる地域社会と、地域包括ケア体制の充実に取り組んで行くとしたところです。 そのためにも人材育成と職員個々のスキルアップとともに、業務を遂行する上での組織力の強化は重要なポイントであり、良好なコミュニケーションのもと職員同士が信頼・協力しあえる職場風土の醸成に努め、一部の職員だけでなく全職員一丸となって経営改革と地域医療の充実に努めてまいります。」と回答がありました。
⑪国際交流	国際交流事業など効果があるのか。やる意義はあるのか。それを誰が評価するのか。	企画部 市民協働課	青少年海外派遣事業に、参加した生徒の皆さんにとっては、意義のあることと理解しております。事業効果は、直ぐに表れるものではないかもしれませんが、教育委員会において、検証を行い進めております。
	国際交流事業の効果はまったくないと思う。10年後、15年後にも効果が現れているとは思えない。行った生徒はレポートを書いて終わりとなっている。どこかでアセスメントを出してほしい。自己負担を出せない人は行けない。これを税金でやっているのは問題である。	企画部 市民協働課	ご意見として、拝聴いたします。今後は、議会の中で効果と評価の在り方については検討していきたいと考えています。
⑫市民生活、健康推進	敬老会の補助金対象年齢を元通りにしてほしい。	福祉事務所 長寿介護課	担当部署へ確認したところ、「少子高齢化により今後とも福祉予算の増大が見込まれることから、平成27年度より補助金の交付対象年齢の引き上げを行ったところです。健全な市政運営を図るための措置であり、ご理解をお願いいたします。」と回答がありました。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表 (南方町)

(平成29年1月末現在)

分野	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回答
⑫市民生活、健康推進	病院がなくても健康寿命を延ばすことはできる。保健師を増やし、地域を回ることで、その代わりはできるではないか。	市民生活部 健康推進課	担当部署へ確認したところ、「健康寿命延伸に向けた取り組みとしては、特に介護予防について高齢者自身が知識を身につけ、地域活動の核となれるよう人材育成を推進し、さらに社会福祉協議会や公民館等との協働の中で、リーダーの活動の場の確保や継続への支援を行っております。このように地域力を高めるとともに、自からが健康づくりに取り組みやすい環境整備に努め健康増進を推進してまいりますので、ご理解をお願いいたします。」と回答がありました。
	年をとっても子どもたちに頼らず、地域で暮らせる施設がほしい。都会からもくるようにして住んで良かったと思えるものを造ってほしい。	福祉事務所 長寿介護課	ご意見として、拝聴いたします。
⑰税、収納	国民健康保険税が高い。引き下げはできないか。	市民生活部 国保年金課	担当部署へ確認したところ、「現在、登米市の医療費の動向は、医療の高度化や高額薬剤の普及等により、年々増加している傾向であることから国民健康保険税の引き下げは難しい状況にあります。」と回答がありました。
⑱財政	公債費とは何か。公債はどこが引き受けているのか。	企画部 財政課	自治体の借金返済にかかる元利償還金と、一時借入金の利子です。地方公共団体金融機構及び銀行、農協などが引き受け先です。金額では65億円、全体の13.2%となっています。
⑳その他	大嶽交流広場から遊具がなくなったので、また作ってほしい。	産業経済部 商業観光課	担当部署へ確認したところ、「市内の観光公園にある遊具の修繕にあたっては、損傷の程度や緊急性及び利用状況により修繕又は撤去の判断をしております。また、新たな遊具の設置においても、利用状況や設置費用等を勘案し、設置する場合には修繕計画に掲載し計画的に修繕していくこととしております。」と回答がありました。